

重要取組シート

ICT イノベーション推進室

取組項目		マイナンバーカードの普及促進
現状・課題		国は、安全・安心で利便性の高いデジタル社会を早期に実現する観点から、マイナンバーカードの普及を進めており、本市においても、マイナンバーカード普及促進センターを拠点として、市民のカード申請機会の拡大に取り組んできた。 令和5年3月における堺市の交付率は約69%であり、引き続き、マイナンバーカードの普及促進の取組を継続する必要があるが、マイナポイント第2弾のカード申請×切後の申請者数は減少していることから、カードを申請されない理由を踏まえた、これまでとは異なるアプローチが必要である。なお、カードを申請されない主な理由は、デジタル庁の調査によると「カードにメリットを感じない」、「情報流出が怖い」、「申請方法が面倒」となっている。 あわせて、ここまで普及が進んだマイナンバーカードの利活用推進を図ることで、市民サービスの向上と行政運営の効率化に取り組むことも必要である。
取組の内容		マイナンバーカードを申請されない理由を解消するため、カードの利便性を実感できる活用事例やマイナンバー制度の安全対策について、市広報やHPのほか、カードの活用機会のある場所で、市民にわかりやすい内容で周知と啓発を行う。 これらの活動と併せて、これまで実施していない施設やカード活用機会のある場所での出張申請受付や申請サポート、病気等で窓口に来ることが困難な方に対する訪問申請受付の実施により、簡単にカードを申請いただける機会を拡大する。 また、国が進めるマイナンバーカードの利活用の動きを注視し、本市においても、マイナンバーカードの利活用を全庁的に進めるため、各所管課への働きかけを行う。
スケジュール	前期 (～7月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発 (マイナンバーカード未申請理由である不安等を解消する取組として) ☐ (4月～) マイナンバーカード普及促進センター(常設窓口)の継続実施 マイナンバーカード出張申請受付・申請サポートの継続実施 マイナポイント予約・申込の支援窓口の継続実施 ☐ (5月) マイナンバーカード訪問申請受付サービスの取組強化の開始 マイナンバーカードのandroidスマホ搭載開始 マイナンバーカードの利活用を全庁的に進める仕組みの検討
	中期 (～11月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発 ☐ (9月) マイナポイント第2弾の予約・申込の終了 マイナポイント予約・申込の支援窓口の終了
	後期 (～3月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発
	次年度以降	☐ マイナンバーカードの普及と利活用推進の取組実施

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発 (マイナンバーカード未申請理由である不安等を解消する取組として) ☐ (4月～) マイナンバーカード普及促進センター(常設窓口)の継続実施 マイナンバーカード出張申請受付・申請サポートの継続実施 マイナポイント予約・申込の支援窓口の継続実施 ☐ (5月) マイナンバーカード訪問申請受付サービスの取組強化の開始 マイナンバーカードの android スマホ搭載開始 マイナンバーカードの利活用を全庁的に進める仕組みの検討 ☐ (7月～) マイナンバーの紐付けに関する総点検の開始		
	中期 (～11月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発 ☐ (9月) マイナポイント第2弾の予約・申込の終了 マイナポイント予約・申込の支援窓口の終了 ☐ (11月) マイナンバーの紐付けに関する総点検の終了(紐付け誤りは無し)		
	後期 (～3月)	☐ (随時) マイナンバーカードの利便性と安全性の周知と啓発		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	4- (1) 行政のデジタル化、スマートシティ推進による暮らしの質の向上		
	寄与する KPI	行政手続きのオンライン化率(国が優先的にオンライン化を推進する39の行政手続き) [現状値: 58.1% (2019年度)]		目標値(2025年度) 100%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正を全ての人に	
	寄与する KPI	—		目標値(2023年度) —